十四日夕刊

磐城毎日新聞

□本紙一ヶ月 金六十錢
□郵税 金十五錢
□一部賣 金三錢
□廣告料一行 金六十錢
□雜報欄 金九十錢
□場所指定一行 金一圓増
□電話（平）七八六番
□振替口座東京一〇八・五六五
福島縣平市田町十六番地
發行所 磐城毎日新聞社
發行編輯兼印刷人 森合英

閼伽井嶽

私の名物觀

はの字生

秋の末から冬を通し春の初めにかけて閼伽井嶽から吹き下す颪、塵を飛ばし小雪を運んで訪れて來ると、自分達に何かしら緊張を與へる、これが石城の名物だと云ふ、結構な名物ではないにしても、これを名物だと稱へた人間に强さがありさうでもある

これと共に名物だと云ふ石城の嘷天下をも春秋の筆法で云ふなら誰かに强さがありそうになるが、そうとは思へぬ颪は名物だと云はれても、より以上に吹き荒ばうとはしないが嘷天下の名物は愈よ益々のさばつて來ぬとも限らぬ

そこで名物に美味い物なしと云ふ、これなら共通する、名物に擧げられても、のさばらぬ大自然と、のさばる小人生事と何れをとるかと問はれたなら僕は颪の方に手を擧げるばかりでない。その颪をば尊くさへ思へてならない

そんな理窟めいたことはさて置いて、空つ風も嘷天下も賞めた言葉とは受とれず嘷天下をば、余りぞつとしない空つかぜに組合せて諷刺したものであらう、ところが、いまの石城には嘷天下など一人も見當らない、若しもあつたら嘲笑ものだ、因襲久しいかかあ天下のそれが諷刺のために何時とはなしに姿を消したものだらう、

かかあ天下が古い型で、そうでないのが新しい型だとすれば新体制と舊体制の樣なものだ徳川三百年の幕政から明治維新となつたのもそれだ、人は新しいものを前にした時に古いものがこれに對立する馬子に籠かき、腕車と自動車荷馬車とトラック、保守から進歩に對して依存的な反動のあるのはきまりものだ時の流れに逆らうものは結局敗れるものである、

丁髷を切ることを惜んだ明治初年の時代人、今では丁髷などは一人もゐないもしもあつたら嘲笑ものであらう、かう考へると今の新体制に苦情を云ふものは、先づ以て丁髷親爺と云ふことになる

文藝

原稿募集

種類　評論、短歌、俳句、川柳
週　隨意
分量　制限なし

あの時知らねば

▷▷▷▷▷▷▷▷▷ 或る日のア、シデンタン

堂前閑人

今は亡き泉の伯父の、これも亦その後間も無く故人となつた其の姉なる人は、今は時つくH畫伯の義母として、畫伯の幼年時代から手塩にかけて育てあげて今日の大成を築き上ぐるためその見る目には斷じて義理ある仲とは思はれぬ迄に涙ぐましい母性愛を注いだ、お屋敷育ちの謹嚴な女性であつたが、臨終近い伯父を看護る親戚の誰彼が集つてた茶の間で、何かの話を切つ掛けに、その人の口から『それはさうと、百ばあさんの出しよSでは其後一体どうしたんだらう』と云ふ話が持ち出された。

○

その話から自分はゆくりなくも、七年に一度『奴行列』が出る釜戸の諏訪樣のお祭りに伯父の宅へ招かれて行つた懷しい少年の日を憶ひ出して、その時丁度茶の間續きの座敷に、頭巾を冠つた童顔の老媼がチョコナンと坐つて居た光景を眼前に描いて見た。

それは伯父の祖母に當る人で當時既に九十の上を幾つか越してた事は確かながら本當の年は誰にも解らなかつたらしく、歿後四十年餘りも經た今日尙ほ一口に『百媼さん』と呼んで長命話の題材に殘つてゐる。

その人がSから出た人だと云ふ事は、自分は勿論、まけぢうにも恐らく知られてゐなかつたらう古い系圖關係であつた。

○

出身がY村だと云ふし先代が陸軍の將校だつたと云ふので、適々自分の知つて居るそれらしいのを話して見たところが矢張り其れに違ひなかつたので、長男はウチの兄と中學の同窓生で在郷將校の齒科醫曩頃現役を志願して病死したことを最近聞き知つた……次ぎは同じ土地で辨護士を、末のむすこはK市の會社に勤めて居る。と話したら、お蔭で古い親戚の近況が悉皆判つたと云つて非常に喜んだ

伯父の病氣を機會に慍らしたことをはじめて聽き知つた自分はそれから間も無く幼時一番世話になつたその伯父と悲しい永久の別れをせねばならなかつたが、其後幾らも經たぬうちに、またその姉なる人の野邊送りに列なることになつた

○

その時自分がS一家の近況を話さなかつたなら、その人は祖母の出しよである古い親戚の消息を全然知らぬ儘他界したであらうし、自分もその時その人からS家との關係を聽かなかつたなら、永久にそうした古い系圖關係を知ることが出來なかつた事であらう機會の偶然？と云ふ樣な事が泌々と考へさせられる。

日記

椎名みや子

幾度も〳〵も、くり返し
日記のページをくりめぐる
あの日、あの時　あの夜の
樂しみ喜び、悲しみの
細い拙いペンのあと
一つ〳〵がなつかしく
心の窓によみがへる
そして今宵のこの文字も
やがて來る日の思ひ出と
雨の音をも忘れずに
心をこめてしるします

連續講談

異說赤穗浪士（いせつあかほらうし）

〔99〕

桃川若燕

畫　城木喬

理吉武家に轉身

これが運よく眞正面に當つたからたまらない。

『ウーン』

と云ふと、ドタリ倒れた。しめたと理吉はそれへ飛び出し三尺棒を取つて倒れてゐる泥棒の背中を續け打ちにポカ〳〵引つ叩いた。此の物音に吃驚して目を覺した、店の者は飛び起きて見ると、理吉が一人の男を叩いてゐる。

『どうした理吉』

『大變です、泥棒が入りました』

『ナニ、泥棒だと』

と二度吃驚

『オイ燈火を持つて來い、オヤオヤこれは何だ』

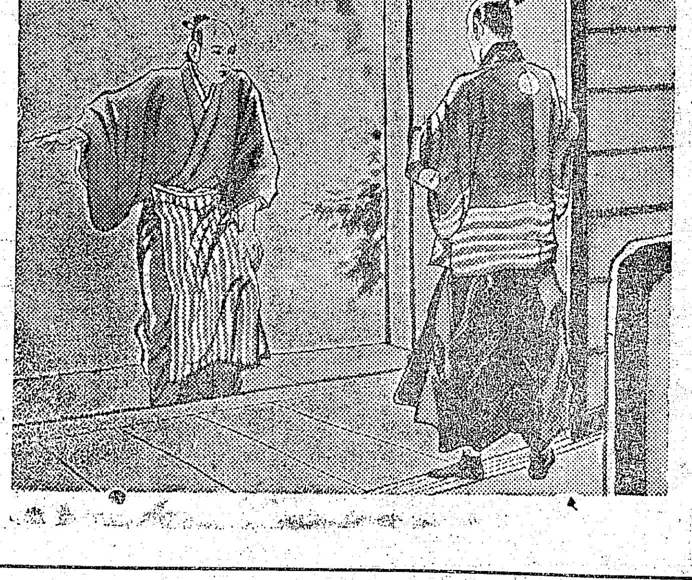
『泥ぼうでございます』

『ナニ泥ぼうだと、オイ熊吉繩を持つて來て早く縛つてしまへ』

『ヘイ』

とこれから下男の熊吉が、荒繩で高手小手に縛つてしまふ。

『旦那樣の物が何か懷に入れてゐます、見て下さい』



調べて見ると紙入れが出て來た。その內に自身番に人をやつて自身番から八丁堀の與力の出張を求め泥ぼうは引渡してしまつた。これを見て店の者は、

『成程、旦那樣や、お內儀さんが可愛がる譯だ、俺達は三十面下げて喰ひ醉つて寢てゐて知らないのだ、どろぼうが入りやあ目を覺しぼうで引叩いて氣絕させ散りつ葉一つも盜まれねえなんざア偉いものだ、眼から鼻へ拔ける怜悧てえのは此の事だらう』

と感心してゐる。

すると玆は本所橫網に藥師寺倉之助と云ふ劍術と槍術と兩方敎へる先生がゐる。相模屋とは至つて心安い、それ故暮の稽古納め、春の稽古初めには相模屋から蜜柑を屆ける今日は稽古納めと云ふので相模屋では番頭の佐助が、

『理吉、藥師寺樣へ行くんだ大して持つて行くんぢやアなし、十箱だから車に乘せて曳いて行け、乃公が後から押してやるから』

『ヘイ』

理吉が車を曳いて行く後から佐助が押して橫網の道場へ來た。

『お賴み申します』

『ドーレ』

『四日市の相模屋でございます、御注文の蜜柑を持つて參りました――』

『大きに御苦勞、門の內に引入れて玄關の所へ置いて呉れマア茶でも吞め、大きに御苦勞〳〵少し待つて居ろ』

奧へ來て先生に云ふと師範代の岩本善之助と云ふのがそれへ出て來て、

『番頭か、大きに御苦勞だつた』

『ヘイ』

『主人夫婦變りはないか』

『ヘイ相變らず達者で毎御屓屓きに有難うございます』

『ちよつと聞いたが四日市の者で劍術の弟子が二人ばかり來る。その者の話しに依るとエ、一月程前だつたか、お前のところにどろぼうがはいつたさうだな』

『エ、入りました』

『すると小僧が其奴を取り押へて突き出したと云ふが本當か』

『左樣でございます、そのどろぼうを捕へましたのは玆に居ります理吉と云ふ小僧でございます』

『其の方は何んだ』

『番頭で』

『幾歲だ』

『三十一歲でございます』

『フーム、此小僧が捕へる時其方は何をしてゐたのぞ』

『ヘエその何んでございます私は醉つて寢てしまつたので少しも存じませんでした、やう〳〵目がさめましてそれへ參りましたら其の始末でございます』

『三十一歲にもなつて小ぞうがどろぼうを捕へるのを知らずにゐるは余程痴けた奴だな

『恐れ入りました』

『その小ぞうに先生が逢ふと云ふから此方へ渡すがい〻』

『ヘエ、エ、蜜柑の御用でございましたら手前が一番々頭でございますから……』

『余計な事を云ふには及ばぬ汝はそれに控へてゐろ』

附屬産院新設
姙産婦入院隨意
産科 婦人科 木村病院
平市新川町 電話一六四番

肉の御用命は
三二三屋
牛も豚も優良品の自慢

神戸牛 すき燒
平市仲田町 電話五二〇
山茶

小料理 田毎
仲田町 電二三六

國民服と軍服
高島屋の洋服
御注文並に既製品
平市二丁目通 電話三六八番

口腔外科、齒科一般 レントゲン科
門馬齒科醫院
院長 門馬忠男
小名濱町中島通

土木 建築 鐵道船舶仲仕
三崎組（事務所）
太田勝康
小名濱町日素前 電話五〇番

磁氣應用治療（マグネタイザー適應症）
【循環器系統】血壓亢進症、動脈硬化症、心臟病、心悸亢進症、貧血症、肩の凝り、
【神經系統】神經衰弱、不眠症、神經痛、頭痛、小兒痲痺、腦溢血、腦充血、腦貧血、ヒステリー、腦膜炎、中風、
【消化器系統】胃痛、胃擴張、胃酸過多、胃痙攣、胃腸加答兒、脚氣、消化不良、便祕、下痢、胃潰瘍
【呼吸器系統】喘息、ルキレキ、肺炎、肋膜炎、肺尖加答兒、肺結核、感冒、
【泌尿生殖器系統】淋疾、消渇、腎臟炎、膀胱加答兒、副睾丸炎、性慾減退、糖尿病
【婦人科系統】子宮癌、月經不順、其他一般婦人病並に産前産後の諸病、淋毒性子宮疾患
【外傷 其他】打撲傷、脊髓カリエス、骨髓炎、胃膜炎、淋毒性關節炎、レウマチス、蓄膿症、耳鳴、中耳炎、痔疾皮膚病一般等
平市田町（驛前）
シンガーミシン會社二階 物理療法磁惠院

營業課目
醫療藥品　工業藥品
有名賣藥　衞生材料
食糧品　染料塗料
寫眞機材料　化粧品各種
吸入用酸素　計量器各種
お宅の体温計は正確ですか？
毎月十日は無料で体温計を檢査して差上げます、どうぞ御遠慮なくお持ち下さい
計量器指定販賣所 みやこ染特約店
資生堂
小名濱町本町通り 電一四七

割烹 越の家
平市二丁目 電三三〇

ホシ ミクローゼ
1家に1個常備の
胃腸・強生ピルツ剤
H クスリはホシ

健康を生産する

ミクローゼは、酵母以上に生存力が强靭で、消化酵素を多量に産生する日本固有のピルツ（有効菌）と、アミノ酸・ビタミンを始め各種榮養素とを豐富に含む胃腸强生劑であります。故に、食慾を旺盛にし、正確・自然な便通をもたらし、榮養の吸收、附加を助け、逞しい健康を生産するのであります。

醫學博士・豐島豐次郎先生創製
一ヶ月分・三六〇錠 一圓五〇錢

特に、左記症狀の方々に好適
各種胃腸疾患
食慾不振
常習便祕
結核諸症
脚氣諸症
腎臟炎
姙婦榮養補强

全國有名商店にあり

東京・五反田
星製藥株式會社

小兒科 內科
◎入院隨時◎
平市南町（電五五番）
醫學博士 酒井保
酒井醫院

便利で經濟な
日下家政婦會の派出婦を御利用下さい
身元確かで品行方正ですから何をお任せしてもご安心です
平市一丁目三一番地（電話七二三番）
日下家政婦會
會長 日下すい子
會員同志の御加入（派出なき閑暇に裁縫や編物をお教授致します）を御誘ひ致します

病室增築、手術室完備
産科 婦人科
醫學博士 五十嵐雄二
平市新川町「電話三六九番」

齒科一般
佐々木齒科醫院
日本齒科醫學士 佐々木三郎
泉村小學校前 電話一番

新築する第五校の位置と建設案 指定申請

平市の教育方針漸進的に確立

平市第五小學校建設案は工業學校へ敷地移行の際一旦取消してゐた爲十三日の市會へ更めて「尋常小學校並に位置指定の件」を附議滿場一致で可決、直ちに縣へ現在の四小學校から第五小學校新築と敷地を梅ケ町にする旨申請することに成つた

同第五校建設敷地買收問題は既報の如く第一回の地主側折衝が思はしからず、一部に不安を抱くものあるも既に諸橋久太郎氏所有の千三百三十四坪と篠塚平八郎氏の二十四坪賣却の申込みがあり、今後共事情を述べて地主側を説得に努める筈で年度內には全部の買收を實現するものと見られてゐる

新設小學校を市の計劃する第二小學校移轉案とせず既定の第五小學校として上提したのは教學區變更並に第一小學校の增學級增改築等大きい問題が附隨し、從つて建築費も莫大な額に上る爲漸進的に

第二小學校移轉、第一小學校擴張市立高等女學校建設等

市の教育問題を順次解決する方針の如くである

老母の遺志で 三百圓寄附

四倉の田中岩次郎氏

四倉町新田町中岩次郎氏母堂ヨシ媼は八十三歳の高齢で十二日午前十時死去、葬儀は明十五日午後二時出棺、原田梅嶽寺に於て營みが媼の遺志に依り三百圓を左の如く寄附した

百圓、四倉銃後奉會△百圓、國防献金△百圓、小學校講堂建設費

庶民の金融公益質や

偏跛な景氣で 實績上る

開設以來の貸付額五萬圓

平市公益質屋は開業二年に及んで漸次その實成績をあげ庶民になくてならぬ金融機關となつた、今十五年度の出入は四月初めから十二月に至る九ケ月間に於て

貸付總額三八、七六三圓九〇（人員二四八九口數三、八二三、點數九五五七）辨濟三一、八〇六圓七〇（人員一、七八二口數三、〇〇四、點數七六一九）

この利子千四十四圓卅七錢を上げ差引一二、八〇八圓と前年度の繰越五、八五〇圓八〇計一萬二千八百八圓餘現在である、引續く今一月は貸付千二百十五圓五十錢（人員七九）辨濟千三百六十圓五十錢で入質よりも受出が多く既に二百余圓の利子をあげてゐる、同店の繁昌は何んと云つても五月と九月の衣換へ時と決濟時の十二月だと云ふ舊臘などは店員達が食事を攝る暇もなかつた程の忙はしさであつたらしい、今月は舊暦大晦日を控へてゐるので相當の多忙さが窺はれ、あと二ケ月を殘して十二月以後に一萬圓の貸付と見れば總額五萬圓に近づき市が二萬圓を用意した資金の倍額以上にのぼる譯でこの利用延人員が三千五百に達するであらうと云ふ繁昌振りである

炊事場の賄節約で 嶄新な貯蓄法實施

大町『六班第一隣り組の試み

平市大町の第六班第一隣り組は渡邊秀行、花澤四良司、額賀榮さん等三名が世話役と成つて組員九戸が一世帯となり何から何まで〝トンカラリン〟を實踐、他の範とするに足る平和鄕であるが皇紀二千六百一年を記念し台所の節約貯金を行つてゐる

この貯蓄法は各戸の主婦が毎日の賄から野菜、魚類を問はず一口五錢宛節約し租税の掛金式に當番廻りで日掛貯金を行ふもので最低十錢から最高四十錢まで一日平均一圓六十錢となり「塵も積つて山となる」の俚諺の通り微細な炊事場の節約も一ケ年つゞけると六百圓と云ふ相當額に上る年の暮にはこの貯金を決算して年末の諸雜費に當て良い正月を迎へようと云ふ一石三鳥の貯蓄法である

湯本、石川線で 土石崩壞

損害五千圓に上る

石川湯本線石住村市神山地內縣道は工費二萬五千百圓で改修中であつたが十日午前十時頃延長四十五米、幅二十米、厚さ四米の土石が崩壞、幸ひ人畜に被害なかつたが平土木監督所では人夫を增員復舊工事に大童となつてゐる損害約五千圓の見込み

能力の二倍動かす 泉驛貨物輻輳

臨港鐵道の開通で緩和か

泉驛は日素關係の貨物だけでも相當重荷を負はされてゐるのに、鰮の漁期に入つて以來鮮乾魚類の貨物は一日百二十トン平均を超え、これ等の山積した多數貨物の運送に入野驛長以下驛員一同文字通り不眠不休、運輸の職域奉公に献身的努力を拂ひ、洪水の如く押し寄せる貨物を辛うじて荷捌してゐるが、貨車を收容する能力以上に輸送する關係上泉驛使用空車は一時高萩、南中鄕に待機させ、トコロテン式に次ぎ〳〵と廻送、これに依つて構內は貨車收用能力の倍以上に當る貨物を動かして居り四月頃の鮮干魚閑散期まで現況がつゞくものと見られてゐる

期待されてゐる臨港鐵道も六月中には竣成、同時に驛構內も相當擴張されるから今冬漁業期を最後に泉驛の貨物輻輳も緩和される模樣である

時代色を映す『明治、大正、昭和』

流行歌の變遷史

明治篇

②

福島縣第一回慰問使　演藝家　中島湖洲述

さいさい節も亦代表的な明治初頭風景である

⊠さい〳〵節

野毛の山からノーエ
野毛の山からノーエ
野毛のサイ〳〵
山から異人館を見れば
お鐵砲かついでノーエ
お鐵砲かついでノーエ
お鐵砲サイ〳〵
擔いで小隊進め

⊠ギツチヨン〳〵（二年頃）

高い山から谷底見れば
瓜や茄子の花ざかり
ギツチヨン〳〵
ギツチヨン〳〵
オヤマカドツコイ〳〵〳〵
ヨーイヤナ
ギツチヨン〳〵
ギツチヨンチヨン

⊠よさこい節

土佐の城下の播磨屋橋で
坊さんがかんざし買ひよつたヨサコイヨサコイ
坊さんがかんざし買ひそなものよ
盲目が眼鏡を買ひよつた
ヨサコイヨサコイ
盲目が眼鏡を買ひそなものよ
いざりが駒下駄買ひよつた
ヨサコイヨサコイ

⊠コチヤエ節（四年頃）

お前待ち〳〵蚊帳の外
蚊に食はれ
七つの鐘の鳴るまでも
コチヤ
七つの鐘の鳴るまでも
コチヤエ、コチヤエ、
お前待ち〳〵夕暮に
格子先
十時の時計の鳴るまでも
コチヤ
十時の時計の鳴るまでも
コチヤエ〳〵

この作替は「時計」を讀込んだ最初の歌であらう、同じく此曲で「お江戸日本橋七つ立ち」の東海道中歌もあるがこれは猥歌でもある

⊠びつくりしやつくり（五年頃）

山寺の鐘つく撞木が生木にて、突く度每に
びツくりしやツくりと
びツくりしやツくりと

⊠猫じや〳〵（六年頃）

猫じや〳〵とおつしやいますが、猫が
猫が下駄はいて杖ついて絞りの浴衣で來るものか
オツチコチヨイノ
チヨイ〳〵
諸所にトンネル切り開き
山も、
野山も平地で馬車や人力車
岡蒸氣
オツチコチヨイノ
チヨイ〳〵

⊠トコシヨイ節（七年頃）

辛抱しなんし又來る時節
泣いてばかりはゐぬわいな
トコシヨイ　トコシヨイ

⊠ひよこほい節（七年頃）

何をくよ〳〵川端やなぎ
水の流れを見てくらす
ヒヨコホイ　ヒヨコホイ

⊠どんどん節（八九年頃）

あれさおよしよそりや鑑札だ、ドンドン
見られちやかくした年が無駄、隊長かね、ソカネ
ドンドン

⊠官員唄（八年頃）

髯を生やして官員ならば
猫やねずみはみな官員

⊠ズンベラ節（九年頃）

權兵衛が種蒔きや烏がほじくる、三度に一度は追はずばなるまい
ズンベラ　ズンベラ
嚴しいけれども地獄がふえる、三度に一度はからずばなるまい
ズンベラ　ズゝベラ
巢をばかられて鳶とからす之では東京を立ずばなるまい、ズンベラ　ズンベラ

玉川記念事業

『名勝舊蹟保存會』起す

玉川小學校長遠藤氏は皇紀二千六百年記念事業として『名勝舊蹟保存會』を起し、歷史に富む村內の舊蹟を探究し記念刊行物を出版、特に有名な日本三玉川の一たる・野田の玉川に記念碑を建立して一本柳を中心として櫻の植樹もする事にしたが數ある吟詠の內

〝茂れしげれ、名も玉川の玉柳〟

の歌を記念碑に刻む事になつた

四倉の飮用水不足 不安一掃さる

落盤の墜道も來月末竣成

四倉町の上水道は昨冬四十年來見ぬ大旱魃に加へ、貯水池から導水する墜道內の落盤などに禍され、一月六日から三月中頃過ぎまで三ケ月余時間給水するなど町民は飮用水難に悩まれたが、本年は降雨に惠まれ貯水池は滿々と水を貯へて居り今後八月まで降雨を見なくとも飮用水に困らないやうに成つた

尙落盤の墜道は工費一萬八千圓投じ昨年三月起工以來工を急ぎつゝあり來月下旬までには竣工を見る豫定で墜道が完全に成ると四倉町の上水道は將來共水不足が完全に解消される譯である

納豆賣りして 國防献金

感心な少年兄弟

平第一校高一菊地武雄尋五同勇吉の兄弟は冬季休暇中納豆賣をして得たる純益金一圓五十錢を十四日國防献金として差し出した

小名日素工場 吉例の昇格

小名濱町日本水素工場では一月の吉例として左の社員工員の昇格を發表した

◇本社々員中昇格せるもの及本社準社員より本社々員に昇格せるもの

任書記	井上　益雄
任技手	河原　利夫
〃	菅野　茂夫
任書記補	竹原　公平
任書記補扱	青木　壽
任技手補	西川　英一
〃	吉井　梅雄
〃	松浦　國光

◇工場準社員より本社準社員に昇格せるもの

任書記試補	牧　平八郎
任技手試補	小森　靜隆
〃	飯田　宗秋
〃	和泉　喜孝
〃	津田　久雄

南洋から第一船

鮪滿載大勝丸三崎入港

小名濱町三代義勝氏所有第一大勝丸は南洋に處女出漁中であつたが一昨十二日午前八時鮪を滿船して三崎港に入港、紫肌、黑川（カヂキ類）約一萬三千貫を水揚しこの價格五萬五千圓の好成績を收めたが小名濱港へは歸港せず仕込に四五日を費し南洋指して第二航海に上る筈である

鹿島の村葬

鹿島村では長谷川周次上等兵大內隆雄一等兵の村葬を來る十七日午後一時から小學校講堂に開く

山本上等兵

二十六日町葬執行

過般無言の凱旋せる小名濱町古港出身陸軍上等兵山元榮君の町葬は二十六日午後一時より小學校講堂に嚴肅に執行する

小名濱國婦の 歳末慰問

遺家族に砂糖贈る

小名濱國防婦人會では舊歳末に際し恒例により出征、入營遺家族を昨十三日訪問し砂糖一袋宛を配付した

小名濱常會で 實踐協議會

小名濱町では過般常會委員の任命を見たので十六日午前十時より小學校裁縫室に於て初顏合會を開き實踐事項の協議をする

臨時總會開く

四倉漁業組合が

四倉濱漁業協同組合の臨時總會を十二日開き左の議案を附議した

一、組合員貯金受入業務開始に關する件
二、組合增口並に出資金額變更に關する件
三、縣漁業組合聯合會增資引受に關する件
四、保證責任四倉濱漁業協同組合施行細則制定の件
五、昭和十六年度各職期間制定の件
六、春職及夏職秋職步合配當給與方法制定の件
七、本組合規約變更の件

四倉狩獵競技

四倉獵友會は昨十二日狩獵競技を行なつたが結果左の如し

△一等、松崎寛△二等、吉田忠一△三等、草野金三郎△四等、村上義一△五等、豬狩長重△六等、和田勝△七等、草野亥子治△八等、永島光次郎△九等、渡邊沺庫△十等、水野谷辰吉

鮫川堰の補強

一萬五千圓で着工

鮫川琉水路渡邊村豊野地內沈下個所は工費一萬五千圓で三崎組に請負決定し昨十二日地鎭祭を擧行した

養正會脫會

橋本村議誤解を惧る

小名濱、玉川兩村合併反對の急先鋒たる玉川村議橋本佐多壽氏は「立憲養正會」に籍があるので世の誤解を招く惧あると今回脫會し同時に村內へ聲明書を出した

歸還を記念し 團体へ寄附

四倉町酒井清輔君

四倉町字仲田寶炭商源太郎長男酒井清輔君は此程無事歸還したので記念として五十圓を左の團体に寄附した

△十五圓小學校備品購入費へ△十五圓四倉町銃後奉公會△十圓四倉町警防團△十圓四倉青年團

無免許の技工

齒科治療して檢擧

草野村生れ小名濱町横町中野政治方齒科技工手森原智は昨年二月頃から今年一月まで齒科醫の資格なしで同町小名濱敬太郎外六名に投藥治療を行つてゐたこと發覺平署に檢擧された

醫師總會

石城醫師會定例總會は十二日午後一時から常陽銀行に開き十五年度會計報告を行つた

平市慶弔錄

【婚姻】平市立町七番地三浦仙吉（三二）さんと平市白銀町三十五番地菅井ヨシノ（二〇）さん

○○○○○映画○○○○○○○○○

平館（十四日替）桑野通子、坪內美子主演「薔薇命あらば」◎三宅邦子德大寺伸主演「お母さん」◎原健作主演「まぼろし城」第二篇

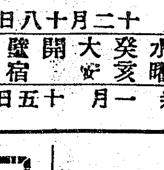
聚樂館（十四日替）◎「民族の祭典」◎高田稔 花井蘭子主演「松下村塾」

世界館 ◎花柳章太郎 森林子主演「晴小袖」◎雲井龍之助 林長二郎主演「續水戶黃門」◎逢初夢子主演「玩具工場」

天氣豫報

今晚 北東の風晴れ
明日 同

十五日
滿潮 前六、二五 後四、五五
干潮 前四、五五 後二、五五



舊十二月十八日
水曜 癸亥 大安 開 壁宿
新一月十五日

▲一白 喜憂を共にし協力一致の覺悟にて進むに吉
▲二黑 盛運に向はんとする端緒を得焦るべからず
▲三碧 益々緊縮を旨とし虛榮を戒しめ大吉と成る
▲四綠 順調の進展を遂ぐる第一歩を踏出すべき日
▲五黃 外觀宜しきに反して內實は意の如くならず
▲六白 屠蘇機嫌の和かさは年中の吉祥を表徵せん
▲七赤 一些事と雖も我意を起さず他の言に從ひ吉
▲八白 成功の元は果斷にあり妄擧に陷るな
▲九紫 物事に遲疑すれば心勞を增ますことゝならん

民族の祭典

十四日から八日間上映　聚樂館

民族の祭典上映に就て世紀の映畵民族の祭典は一月十四日より二十一日迄平東寶映畵劇場聚樂館に於て上映致すに決定致しました事

本映畵は陸軍省より民族精神の高揚に資することと一般國民の體位向上によい感銘を與へることが認められ厚生省よりも同樣な點で更に進んで本映畵と工場團體の勤勞者に見せて身體の鍛錬と堅實なる思想の涵養に資すべく後援を惜しまず。

文部省よりは何よりも先づ映畵法の規定に依る完全なる文化映畵であることを指適され、本映畵は如何なる小、中、女學校の生徒にも進んで觀覽せしむることが出來るし、學校當局としても安心してこの映畵に生徒を托することが出來ると申されて居ります

前記陸軍省、文部省、厚生省の三省より推薦され正に世紀的な大映畵であることは御了知の事と存ぜられます

本映畵を皆さん方が御覽下さることは、四年も經ちまして非常に遲れてゐる樣な感じをせられるかも知れませんが、目下非常時局に際して本映畵を觀ることに依つて如何にドイツがこの戰後國民體位向上のために全力を注いだかと云ふことが解ります、あの大戰の第一線に於きまして自ら三軍を叱咤激勵して居りますその形と同じやうにヒットラーがこのオリンピックの二階に參りまして味方の選手を皷舞激勵して居つたのであります、要するに今日再びこの大戰爭を見る時にありオリムピックは今日の準備であつたとも言ひ得るのであります

皆樣是非共御觀覽下さいまして、三段跳、マラソン、棒高跳と三度び日章旗が空高く飜へるを見、壯嚴な君が代が大スタデムの十數萬の觀衆の上に靜かに流れるを聽く時我々は感激が胸に迫り來ることを禁ぜられません

國の譽れ民族の誇りこれに勝る歡びがあるだらうか!!本映畵に依つて我等は強く自覺するのだ!!!高い誇りを以て鑑賞出來るオリムピア優秀映畵であることを繰返して御奬め致します

場所平東寶映畵劇場
聚樂館

おちの良い マルミ 糠石鹸

特別大興行（正月十四日より上映）

松竹大船豪華篇、一つの不幸がとりもどした三つの幸福生々しい家庭問題と社會問題の交流

バラ命あらば
桑野通子、坪內美子
島崎潑、高倉彰
原保美

久々に見る桑野、坪內の美しい競演、潑剌息をもつかせぬ魅了作

日活連續時代劇、原健作、河部五郎主演
第二篇 まぼろし城（死の旋風）
倒すか、倒されるか微妙な賽の目は飛彈の山間に投られた謎の鐵假面…まぼろし城主の陰謀に單身挑む月之介の息づまる死の旋風、神州山繪圖は果して誰の手に

松竹大船異色篇
お母さん
三宅邦子、桐霧鏡子、大塚君代
吉川滿子、其他オールキャスト
母親の盲目的な愛情がどんな負擔を負はしめるか、年頃の方にもお母さん方にも是非見て戴きたい異色篇

……文化映畵 大島火山
日本及海外ニュース……

御觀覽料 大人五十錢 小人十五錢

松竹平館

謹告

今回其筋の慫慂と各業者新体制下に即應して市內六タクシーを合同致し營業所を平驛前元昭和タクシーに設置致し營業開始仕り候

從つて今後は一切當營業所以外に於てはタクシーの御用命は申受けざる事と相成り候倍舊の御引立御願申上候

昭和十六年一月十日

有限會社 平合同タクシー 電話三四三番

御得意樣各位

興亞の晴衣 國民服

一着万能
職場に
儀場に
戰場に

カタログ進呈致します

平市銀座
大崎屋洋服店
電話九六番

日の出醬油
醸造元 小名濱町（電話二十九番）
綿屋商店

千代田生命保險相互會社
富國徵兵保險相互會社
日產火災海上保險株式會社
代理店